

# あなたの街の「地域活性」を支援する情報誌

2022  
Early  
Winter

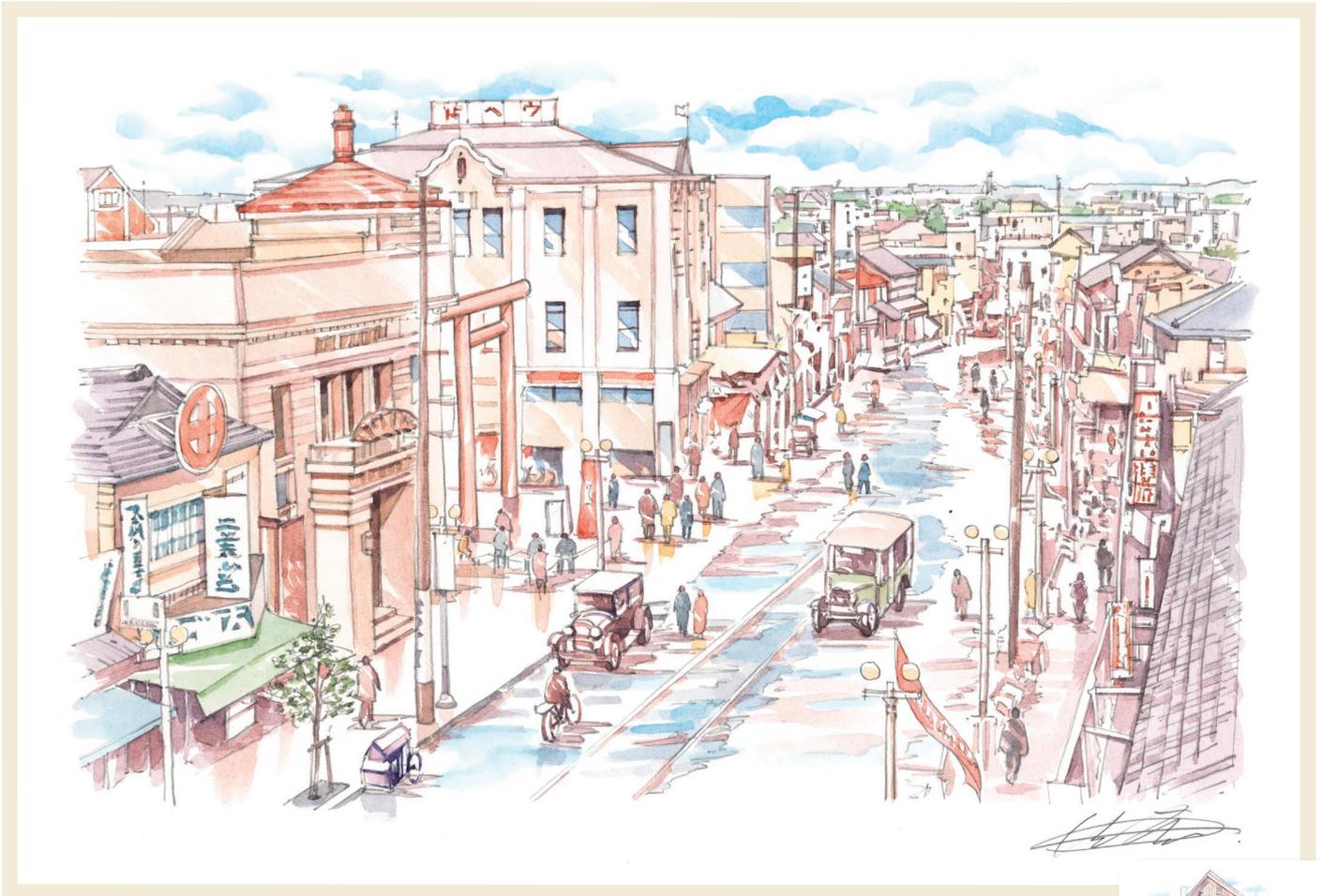


人が笑む、街も笑む。  
[プラス・エム]

2022. 12

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

マーチング委員会は「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」に加盟しております。



## 今号の街／栃木県宇都宮市中心街(大正時代)

作品タイトル: 下野國一ノ宮 二荒山神社前 作家: 上野 啓太

「宇都宮の浅草」と呼ばれ北関東屈指の賑わいをみせていた大正時代の二荒山神社前。一気にモダンな建物が増えたとの風景です。鳥居の奥に見えるのは同14年に出生した北関東初の百貨店・上野呉服店馬場町支店。手前には同13年開業の足利銀行宇都宮支店が見えます。未舗装の道路を、乗り合いバスが走っていました。



あなたの街で活動する

『しもつけの心マーチング委員会』  
株式会社 井上総合印刷  
の活動を裏表紙でご紹介します! ▶▶▶

特集：マーチング活動事例紹介 あだちマーチング委員会・株式会社 エイジ

街並みイラストは、きっかけづくり地元好きの集まりを活性化

協賛企業紹介：リコージャパン 株式会社

空間のイメージ・雰囲気を実際に伝える 360°VRコンテンツ作成を新たなビジネスに

マーチング委員会「日本全国おすすめ情報」

地域活性の取り組み紹介「キラリ輝く地域メディア」



一般社団法人

マーチング委員会®



東京都 足立区  
あだちマーチング委員会  
株式会社 エイジ  
代表取締役：小林 英一郎

## 街並みイラストは、きっかけづくり 地元好きの集まりを活性化



西新井大師本堂

### 9社のチャーターメンバーで スタート

2009年に活動を開始したあだちマーチング委員会は、足立区内の印刷会社9社がチャーターメンバーとなった。街のイラストを使って、紙に関わるだけでなく、コンテンツの制作を軸にするという趣旨を掲げたのが特徴だ。

まず、地元の足立区の真ん中、「足立区のへそ」と言われる場所を決めた。それが、西新井大師。天長3(826)年創建の弘法大師ゆかりのお寺で、関東厄除け三大師のひとつでもあり、足立区民にとっては誇りとともに親しみのある場所だ。ここを中心にメンバー各自が自転車地域をめぐり、自分自身の思い出深い場所などを選んでイラストを制作していった。

「足立区にはランドマークと言われるようなものがあまりないので、自分の出身校などもイラスト化しました。私の母校の中学校は生徒数が1,500人以上、毎年500人以上の卒業生がいます。10年経つと5千人、30年経つと1万5千人になるわけで、さらにその親きょうだいか区外へ出ていった人とかにも広がっていくとものすごいインパクトの数になるんです。中学校の校門のイラストだけでも、それほど多くの方に喜ばれる」と小林さんは語る。



千住イラスト展案内



西新井大師イラスト展示①



イトヨーカドー(左:1977年開店当時、右:現在)



西新井大師イラスト展示②

次に、発展目覚ましい北千住を中心としたエリアでイラストにする場所を選んでいった。足立区は新旧のいろんな顔を持つので、多彩なイラストが揃っていき、こうして制作を積み重ねたイラストは現在100点を超える。

最新作は、2023年3月に閉店するイトヨーカドーのイラスト。町の人々にとっては思い出深いお店であり、閉店には感謝も哀切もある。今のヨーカドーと、開店当初のものと、2つを並べたイラストはとても喜ばれているようだ。

### 様々な年代、業種、分野の 人たちと繋がって

あだちマーチングではイラストを使って色々な人との交流を深めようと、足立区の産業展、工業展などちょっと変わった場所でイラスト展を行った。すると、そこから面白い人脈ができていく。例えば、足立区には6つの大学があり大学生も多いので、出展ブースの隣に大学生たちがいたりする。そこで「地元のイラストに興味ありますか?」と話しかけると、



『紙ものフェス』ワークショップの様子



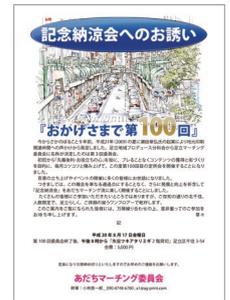
『紙ものフェス』で生まれる新たな交流



地元小学校で授業に参加



『はなはな文教マルシェ』参加の様子



第100回記念納涼会告知

話が盛り上がる。すると、今度はその大学生たちが地元の編集者や商店の社長などを連れてきてくれる。こうして知り合った人たちをマーチング委員会の毎月の定例会にお呼びする。その結果、地元を好きな人、地元のことを発信したい人が集まるようになっていった。

そこから発展した形として、「あだち紙ものラボ」という制作集団を作った。色々なものづくりを地元から託されるような集まりである。イラストだけでなく、本の出版やパッケージデザインなどを手がけている人たちとも仲間になれた。そして、地元のお寺や神社に無償で会場を提供してもらって、「紙ものフェス」というイベントも数回開催した。

こうして、地元での繋がりがどんどん広がっていき、学校、銀行、役所などから仕事の声かけをいただけるようになった。

現在、13社のメンバーがいるあだちマーチング委員会だが、仕事の取り合いにはならず、共存共栄が実現できているという。設立当初から参加している小林さんにあだちマーチングの活動の感想を尋ねると「苦労は感じたことがないです。多彩な方々と知り合いになれたこと、体験

できなかったような異なる分野に着目できたことのやりがいが大きく、本当にやってよかったと思います」と明るい声が返ってきた。

### 地元のアーカイブとして 貢献したい

コロナ禍ではイベントは軒並み中止、定例会もストップしてしまったが、委員会メンバー各社がイラストを活用して、銀行から依頼のタペストリーや店舗の日除けの囲いなどの制作を受注したり、学校の制作物のお手伝いをしたりと、地道に活動は続けてきた。

With コロナという社会が変わって

きて、最近では、地元の文教大学とのイベントに参加し、学生たちとの交流を深めた。

先述した閉店するイトーヨーカドーもそうだが、「このイラストを描いて欲しい」というオーダーをいただくことも多くなってきているという。マーチング委員会の制作してきたイラストの価値が周知され、共感された証と言えるだろう。

今後は、地元を描いたイラストをマーチング委員会でしっかり管理していくことにより、地元の記憶を記録したアーカイブとして活用されるように努めていきたいと考えているようだ。■

## POINT! 「点より面で活動を広げていく」

設立当初からあだちマーチング委員会は9社(1社から2人参加)の組織で活動を行ってきた。そして、イラスト展を開催するには異業種の人たちが集めるような場所をあえて選んで、イラストの展示が目的というよりも「地元好き集まれ!」という呼びかけの場にした。このようにイラストをきっかけにコミュニケーションを広げていくことを目指した活動が、あだちマーチングの大きな特徴であり、成果の源となっている。



東京都 港区  
協賛企業 リコージャパン 株式会社  
PP事業部PPビジネスサポート部  
担当：伴 仁



## 空間のイメージ・雰囲気を実際に伝える 360° VRコンテンツ作成を新たなビジネスに

### リコージャパンについて

わたしたちリコージャパンでは、イメージセンシングの技術を活用し360°画像でバーチャルな空間を想像できるソリューションを紹介いたします。

THETA360°bizは、低コスト且つ簡単に実現できる、高品質のバーチャルツアー作成サービスです。

地域の美しい風景やまちなみをバーチャルで再現する事ができます。

### THETA 360.bizについて

THETA 360.bizは、360°全天球カメラ「RICOH THETA」で撮影した360°画像を閲覧するコンテンツを簡単に

作成し、Webサイト上での埋め込み表示や、URLの共有により、エンドユーザーに提供するクラウドサービスです。不動産物件紹介の他、観光地案内や宿泊施設、飲食店やウェディング会場、レンタルオフィスなど、空間の雰囲気や設備をWebサイトで紹介し、集客数、成約率の向上をねらうお客様にご利用いただいています。

### THETA 360.bizの特長について

- ・図面と画像をリンクさせたコンテンツ（ツアー）を難しい操作なく、直感的に作成することができます。
- ・作成したツアーは「URL」「HTMLコード」で共有可能で、URLリンクの共有やWebページへの埋め込みこ

・アプリ不要でウェブブラウザがあれば、360°画像をPCでもスマートフォンでも閲覧可能です。

・画像だけでなく、テロップやアノテーション（注釈機能）を使用し、360°画像に付加情報を記載することができるため、画像以上の情報を提供できます。

・リコー独自の「AI超解像」「AI明るさ補正」をお使いいただく事で、より鮮明な360°画像の公開が可能です。

・公開したい360°ツアーの公開数によって4つご用意しているプランからお選びいただけます。



THETA 360.biz ご紹介ページ ▶ <https://www.theta360.biz/>



## 印刷業界でのTHETA 360.bizの活用について

印刷物だけでなく、360°画像を掲載できるという付加価値を持ったWebページ作成などの役務を担うことによって収益を増加させることができます。

また、印刷物にQRコードを使用して360°画像へのリンクを掲載する事で、印刷物自体の情報量を増やし、印刷物の価値

を高めることができるようになります。

360°画像は掲載するだけでなく、掲載する360°画像のクオリティも重要となります。

そこで、360°画像の画像処理業務を印刷業の皆様がお客様から請け負うことで、役務をONでき、より多くの利益を得ることが可能となります。

現在、本サービスをお使いいただいている業種としては、不動産業、建設業、

観光業(ホテル含む)等が多く、パンフレット等も使用している業種が多くあります。

そういった業種で、パンフレットに360°画像ツアーのQRコードを貼り付けて発行することにより、印刷物の発行数の上昇による利益アップ、Webページ制作および360°画像処理業務の請け負い業務による売上アップが見込めると考えております。

QRコードを使用して360°画像へ誘導し、閲覧することができます。

掲載されている360°画像へのリンクを読み込み

左から右に流れるテロップで説明したい内容を表示することができます。

画像は360°自由に閲覧することができます

画像を拡大したり、縮小、全画面表示を閲覧する方が操作可能です。

矢印をクリックすることで、隣の画像へ移動することができます。

クリックする事でより強調、説明したい情報を掲載する事ができます。画像、テキスト、YouTubeリンクが使用可能です。

## リコー環境事業開発センターの360°画像ツアー例

リコー環境事業開発センター Webページ  
[https://jp.ricoh.com/environment/eco\\_business\\_center/](https://jp.ricoh.com/environment/eco_business_center/)

リコー環境事業開発センター 360°画像ツアー  
<https://ricoh-ebc.theta360.biz/t/86a1b88c-2b14-11e8-a5b0-0a98a95454ba-1>



青森県 弘前市 津軽ひろさきマーケティング委員会  
有限会社 アサヒ印刷 代表取締役：漆澤 知昭

## リンゴ生産量日本一の弘前市に来たら、 こだわりのアップルパイも食べてみて

### りんごの形のアップルパイ



紅玉のジューシーでやさしい酸味とバターが香るサクサクのパイが最高です！

### ジャルダンさんのアップルパイ オススメはりんごの形！



ジャルダン洋菓子店  
〒036-8186 青森県弘前市富田3丁目1-6  
営業時間：9:30～18:30 定休日：火曜日、第1・第3月曜日 Tel.0172-32-6158  
[https://www.instagram.com/jardin\\_hirosaki\\_aomorii/](https://www.instagram.com/jardin_hirosaki_aomorii/)

市内40店舗以上のこだわりアップルパイ。なかでもジャルダンさんのアップルパイは弘前主催「第1回アップルパイコンテスト(2001年)」でグランプリを獲得、日経新聞のアップルパイランキング(2015年)では 全国4位を獲得しました。その他メディア等多数取り上げられるなど、青森特産『知る人ぞ知る名店』技術の高さや人気うかがえます。

原材料は「青森県産紅玉(りんご)、小麦粉、フレッシュバター、牛乳、砂糖、卵、塩」とシンプルで一切添加物を使用しておりません。りんごそのもののおいしさを最大限引き出したアップルパイです。



津軽ひろさきマーケティング委員会と  
コラボ、キーホルダーでも登場！



宮崎県 都城市 霧のみやこマーケティング委員会  
株式会社 文昌堂 代表取締役：東 淑恵

## 都城は、肉と焼酎だけじゃない、 畑の肉もすごいんです

### 宮崎県都城在来種みやだいず使用 [みやだいずの簡単手作り味噌キット]



宮崎県都城市在来種大豆「みやだいず」プロジェクトメンバー

### 愛情いっぱいの手作り味噌で作る お味噌汁は最高のごちそうです



麹、蒸し大豆、食塩、ビニール袋、輪ゴム、作り方ガイドが入っているので、到着後すぐに仕込めます！

ケンコー食品工業様では、「体に安全で、安心なものを作る」という想いのもと、添加物不使用の製品作りを行っています。中でも在来種「みやだいず」を使用したこだわりの味噌しょうゆでどれも選りすぐりの逸品ですが、味噌づくりの醍醐味を味わって、自身のお気に入りに完成できるのが、「簡単手作り味噌キット」です。蒸した大豆「みやだいず」が入っていますので、

大豆を潰して、同梱された麹と塩を混ぜるだけです。時間の経過とともに味噌の中の微生物が働く様子を色や香りで感じられ、私だけのお味噌を完成できます。

子供の自由研究にもおすすめの観察シート付きです。



宮崎県都城在来種  
**みやだいず**

産学官による「みやだいず」プロジェクトのロゴマーク

ケンコー食品工業株式会社  
〒885-0081 宮崎県都城市鷹尾3丁目28-21 Tel.0986-23-6041 <https://www.misogura.com/>

鍋島裕俊が選ぶ  
**キラリ☆輝く  
地域メディア**

アフターコロナで求められている地域メディアは、地域に暮らす老若男女の互いの顔の見える化・魅せる化できるもの、それがあることによって、地域コミュニティの再生・醸成が可能になり、一助となります。「キラリ☆輝く 地域メディア」は、私が蒐集した全国各地の地域メディアの中から、“人が見える・魅せる”メディアを選び、紹介しています。

今回の地域メディアは、日本唯一の有人離島専門フリーペーパーの「季刊リトケイ」です。



有人離島専門フリーペーパー「季刊リトケイ」  
発行：離島経済新聞社 <https://ritokey.com/>



東京都 世田谷区

file No. 10

**日本の島々に存在する“島国の宝”を  
未来につなぐ「有人離島専門メディア」**

“つくろう、島の未来。”とサブタイトルで語っているように日本全国の島6852の中から有人離島420島の“ヒト・モノ・コト”の見える化、魅せるかを発信している情報紙です。

このリトケイは、鯨本(イサモト)あつこさんが2010年からメディア活動を開始し、2014年からはNPOとして活動の幅を広げてきました。鯨本さんは、何故に、島の情報紙を始めたのでしょうか?鯨本さんは海や島と縁があったのでしょうか?否、まったくありませんでした。鯨本さんは大分県の日田市の生まれで、山に囲まれて育ちました。その鯨本さんが何故に?そのキッカケは「島の情報は探しにくい」ことに気付いたからです。鯨本さんは当時、東京のビジネススクールに通い、その仲間たちと島へ移住する友人の島を訪れる際に、初めて聞く島の名前だったので、インターネットで検索し調べました。そして気付きました。「島の情報は探しにくい」と。そこでビジネススクールの仲間たちと立ち上げたのがリトケイでした。

2010年10月にスタートした離島経済新聞(リトケイ)、それまで離島の情報媒体が少なかったこともあり、一気に島に暮らしている人や島が好きな人から反響があり、読者が増え、鍋島も、その一人で、見かけたら必ず入手します。では、鯨本さんと仲間たちが作っているリトケイ、「島に伝えたい情報」「島から伝えたい情報」を紹介し、リトケイの構成は、「インタビュー、特集、データ、島にまつわる情報、島で働く人」などが載っています。

ここでは、最新の今年のNo.38から40号を紹介し、今年の夏号(No.38)には、インタビューが「進化思考」を著された太刀川英輔さんが「世界の希望を小さな島から」と語っています。



特集は、「地域共同体に学ぶ島のシマ」で、最初に奄美諸島の島ラジオ、メディアの存在、役割を紹介しています。次にゴリラ研究で有名な山極壽一さんが屋久島の素晴らしさを語ります。更に3つの島、島根県の隠岐の島、広島県の阿多田島、沖縄県の津堅島、の地域づくり活動の紹介にプラスして山口県下関市の六連島でのシマ活動の事例を見開きで紹介。

今年の秋号(No.39)は、解剖学者であり昆虫愛好家の養老孟司さんの「島がホントで都市がヘン」と云う提言インタビューが載り、特集は「島だから学べると」と「島留学」や「島ツーリズム」の事例が多々紹介されています。読んでみると紹介された島に行きたくなります。そして次に見開きには「小規模離島海ごみ問題を考える」と云うNPO活動が載っています。今号でも紹介されていますが、毎号一人、島で仕事をしている人を1ページ使って紹介しています。この方たちを訪ねてのヒューマン・ツーリズムも良いと思います。

今年の冬号(No.40)のインタビューは、滝口悠生さんと、小笠原諸島から約280km離れた孤島・硫黄島で「戻れない島の豊かな記憶を追いかけて」と語っています。滝口さんは八丈島の生まれで、6年前に「死んでいない者」で芥川賞を受賞しています。

特集は、「島に生きる言葉100」で、リトケイ創刊号から今号までの経緯の中で語られた“言葉”に照準を置き、100人から紡ぎ出された言葉を紹介しています。キラリと輝く言葉のダイヤモンドです。一例で、島尾ミホさん「島

にも血が流れていて、自分の一部とつながっているような体感」。本当にリトケイ、読んでいて多くの気付きもあり、盛沢山でタマリマセン。

マーチング委員会の皆さん、ぜひ、このリトケイ、一度、手に取って読んでみてください。リトケイの設置場所は161島・148市区町村を含め、全国に900カ所もあって、春夏秋冬に12000部を発行しています。そして、メディアの発行・発信以外にリトケイの素晴らしいのは、NPOとしての活動です。それは、島は全て海に囲まれています。SDGsでも指摘されている海辺に漂着する海ごみ問題です。

特に島の住民や行政だけでは解決の難しい「小規模離島」の海ごみ問題について、リトケイは読者やSDGs活動を標榜している企業・団体と共に考え実行する「小規模離島の海ごみ問題を考える会」を立ち上げたのです。次世代へ海を引き継ぐために、海を介して人と人とがつながる「日本財団「海と日本プロジェクト」の一環で活動しています。いろいろと紹介してきましたが、リトケイを読んでみたくなりましたか?

鯨本さんが初めて訪れた瀬戸内海の島で出会った農家のおじさんの言葉「この島は宝島だから」、それを確認して、それを島外の人に伝えたくて、作り続けてきたメディア、10年、継続は力なり、です。■

◎マーチング委員会の皆さんも、皆さんの住み暮らす地域の素晴らしさを、「見える化・魅せる化」して、地元への関係人口・ファンを醸成してください。



鍋島 裕俊

折込広告文化研究所 代表 元 朝日オリコミ社長室長、メディア戦略アドバイザー

朝日新聞社系の折込広告会社に営業で入り、その後、出版、マーケティングを経て、現在、メディアの方向性を考える戦略セクションに所属。折込広告全国大会の分科会やセッションのプロデュースを担当。折込広告に関する過去の著作は、「商業界」「食品商業」「宣伝会議」「販促会議」「物価資料」など多数。



## 百景イラスト描く側の心得

一般社団法人マーチング委員会 顧問  
ふるさと画家・イラストレーター 上野 啓太

私が百景イラストに携わらせていただいてから15年が経ちました。そこで私が普段このイラストを描く際の心得のようなものを説明させていただきます。

街並みを描くとき普段その街並みを歩いている方々が見えている、あるいは感じているそのままを描くことに徹するようにしています。

具体的に申します。

- ・人間の視点、150cm～180cmの視点で描く。
  - ・人や車、看板などを排除しない。
  - ・スカイツリーなどその街のランドマークは必要以上に大きく描く。
  - ・作家性、芸術性は必要ない。
- これは自分が初期の作品展示会で

お客様の反応から感じ取って決めたものです。もちろんこの条件のみで描いていない作品も多数ありますが、街並みに関しては大きく外れていないと思います。

商業イラストレーター根性まるだしの描き方ですが、このようなイラストは、いかに普段着の作品かが鑑賞していただく方たちには大切なことだと思っております。

以上、はなはだ簡単ではございますがイラストを描かしていただいている者の心得について話してみました。

マーチング委員会[今後のスケジュール] マーチング委員会公式ホームページ <http://machi-ing.jp/>

## 第12回 一般社団法人マーチング委員会 総会&特別セミナー (予定)

開催日時: 2023/02/24 (金) 13:30受付開始 14:00総会開始

開催方法: 東京ガーデンパレスと各地とのZOOMハイブリッド開催

開催場所: 東京ガーデンパレス 3F 平安

東京都文京区湯島1-7-5 TEL:03-3813-6211

14:00~14:50 総会

15:00~17:45 特別セミナー (予定)

18:00~20:00 懇親会(引き続き 東京ガーデンパレスにて)

最後にリアル開催した第9回(2020年)総会時の模様→



## 地域のキーマンづくり リーダー養成講座 part.1&2 (バックナンバー)

マーチング委員会ホームページの会員専用サイトにて **限定公開!**

## マーチング EXPO 2022

2022年11月16日にオンライン開催された模様は、QRコードからご視聴いただけます。



表紙の街の委員会紹介

しもつけの心マーチング委員会 <http://www.inoue-gp.jp/>



↑今(令和4年)の二荒山神社前

今昔イラストが載った誌面(第65号)→



令和4年春、16年目を迎えた弊社発行の地域貢献季刊誌「しもつけの心」第64号上で「まちなみ今昔ものがたり」をスタートさせました。白黒写真しか残ってなくても鮮やかさを再現できるイラストの強みを活かし、その場所の今昔風景画を上野先生にお願いしています。読者の思い出話しも添え、人と街が笑む誌面になりました。

しもつけの心マーチング委員会

所在地 栃木県宇都宮市岩曾町1355番地

代表 井上 加容子

企業HP 株式会社 井上総合印刷

<http://www.inoue-gp.jp/>

連絡先 Tel.028-661-4723(代)